

神經・筋疾患分野

学習資料

神経・筋疾患に関連する重要な指標

- Hoehn & Yahrの分類
- Unified Parkinson Disease Rating Scale (UPDRS)
- Expanded Disability Status Scale (EDSS)
- Quantitative Myasthenia Gravis score (QMG score)
- Scale for the Assessment and Rating of Ataxia (SARA)

Hoehn & Yahrの分類

重症度	内容
1	
2	
3	
4	
5	

※ 上記の枠内をすべて埋めなさい。

UPDRS

- Parkinson病の総合評価として使用される
- Part I からIVまでで構成されている
- 各0-4点の5段階で評価する(一部は0点or1点の2段階)
- 合計点数は199点で点数が高いほど重症度が高い
- Part IIIはOn時とOff時を分けて評価する

UPDRS

Part	評価項目	内容	項目数	点数
I		知的機能、思考障害、抑うつ、意欲低下	4項目	各0～4点
II		会話、嚥下、書字、更衣、歩行、起居動作など	13項目	各0～4点
III		振戦、筋強剛、指タッピング、姿勢、歩行など	14項目	各0～4点
IV		ジスキネジア、wearing-offなど	11項目	各0～4点

※ 上記の枠内を埋めなさい。

EDSS

- 多発性硬化症の総合障害度評価として使用される
- 0.0から10.0までの20段階で構成されている
- 点数が高いほど重症度が高い
- Kurtzke機能別障害評価(FS)に基づく評価を含む
- FSは錐体路/小脳/脳幹/感覚/膀胱直腸/視覚/精神機能の7項目から構成されており0(正常)～6(重度)のgrade評価

QMG score

- 重症筋無力症の重症度を評価する
- 各0～3点の4段階で評価する
- 合計点は39点で点数が高いほど重症度が高い

QMG score

※ 下記の枠内を埋めなさい。

項目	0点	1点	2点	3点
	61以上	11～60	1～10	常時
	61以上	11～60	1～10	常時
	完全閉眼	閉眼できるが弱い	閉眼できるが抵抗を加えると開く	完全に閉じることができない
	正常	軽度誤嚥	強い誤嚥	飲めない
	50まで言える	30-49	10-29	1-9
	240	90～239	10～89	0～9
	240	90～239	10～89	0～9
	80%以上	65～79%	50～64%	50%未満
	男性≧45 女性≧30	男性15～44 女性10～29	男性5～14 女性5～9	0～4
	男性≧35 女性≧25	男性15～34 女性10～24	男性5～14 女性5～9	0～4
	120	30～119	1～29	不可
	100	31～99	1～30	不可
	100	31～99	1～30	不可

SARA

- 協調運動障害を評価する
- 全8項目で0点～40点で評価
- 点数が高いほど重症度が高い
- 8項目は歩行/立位/座位/言語障害/指追いつ験/指鼻試験/手の回内・回外運動/踵脛試験で構成されている

Hoehn & Yahrの分類(実践)

※それぞれの問に答えよ。

1. Hoehn & Yahr分類は何を評価するための指標か。
2. Hoehn & Yahr分類は何段階で評価されるか。
3. Stage1はどのような状態を表すか。
4. Stage2はどのような状態を表すか。
5. Stage3で新たに出現する重要な症候は何か。
6. Stage3とStage4の違いを説明しなさい。
7. Stage5はどのような状態を表すか。
8. Hoehn & Yahr分類の点数が高いほど、Parkinson病の重症度はどうなるか。
9. Hoehn & Yahr分類のみで日常生活能力を詳細に評価できるか。理由も説明しなさい。

UPDRS(実践)

※それぞれの問に答えよ。

1. UPDRSは何を評価するための指標か。
2. UPDRSは何Partで構成されているか。
3. Part I ではどのような内容进行评估するか。
4. Part II ではどのような内容进行评估するか。
5. Part IIIではどのような内容进行评估するか。
6. Part IVではどのような内容进行评估するか。
7. UPDRSの点数が高いほど症状はどうなるか。
8. UPDRS Part IIIで評価される運動症状を3つ以上挙げなさい。
9. UPDRSは主に医療者評価か、患者自己評価か。

EDSS QMG score(実践)

※それぞれの問に答えよ。

1. EDSSは何を評価するための指標か。
2. QMG scoreは主にどの疾患で用いられるか。
3. QMG scoreは何項目で構成されているか。
4. QMG scoreの合計点は何点から何点までか。
5. QMG scoreの点数が高いほど症状はどうなるか。
6. QMG scoreでは眼症状としてどのような項目を評価するか。
7. QMG scoreでは四肢筋力としてどのような項目を評価するか。
8. QMG scoreでは呼吸機能として何を評価するか。
9. 重症筋無力症においてQMG scoreを経時的に評価する目的を説明しなさい。

SARA(実践)

※それぞれの問に答えよ。

1. SARAは何を評価するための指標か。
2. SARAは主にどの疾患で用いられるか。
3. SARAは何項目で構成されているか。
4. SARAの合計点は何点から何点までか。
5. SARAの点数が高いほど失調症状はどうなるか。
6. SARAでは構音障害を評価するか。